



東松島工場の外観

- 本社所在地：宮城県東松島市
- 事業概要：廃タイヤ・金属リサイクル
- 常時使用する従業員：70名
(2026年5月時点)
- 現在の売上高：25億円
(2026年5月期)
- 法人番号：4370301002241
- Web：https://www.tobukankyo.com/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
工藤 豊和

全ての人から選ばれる安心・安全で地域社会に貢献する リサイクル企業であり続ける。（企業理念）

当社は「全ての人から選ばれる安心・安全で地域社会に貢献する企業」を理念に掲げ、長年東北の廃棄物リサイクルを担ってきました。今後、手作業依存を脱却する自動破碎と、大量廃棄が迫る太陽光パネルの高度資源化インフラを構築し、東北から北関東を網羅する広域静脈物流プラットフォームを確立します。東北から日本へ「持続可能な資源循環」を先導する100億円企業への飛躍をお約束します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

- ・2034年の売上高100億円達成に向け、2032年までにタイヤ破碎機の自動化や太陽光パネルリサイクルの処理体制を確立して売上高85億円越えを達成する。
- ・その後、高度マテリアル化の基盤を軸に、M&Aによる同業他社の統合やモンゴル等への積極的な海外展開推進によって、2034年に100億円を達成する。

課題

- ・大量廃棄が迫る太陽光パネルの適正処理要請に対する、高度分離設備や処理・保管スペースの絶対的な不足
- ・手作業（手動カッター）への依存による生産非効率と、高付加価値業務へシフトするための人的リソース不足
- ・全国の「広域資源循環ハブ」となるための、中間処理拠点の機能不足とM&A等の実行力不足

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・アルミ・タイヤ破碎工場の新築による高度マテリアル化と生産・処理能力の抜本的拡大
- ・最新の自動破碎機・分離機の導入による手作業からの脱却、圧倒的な省人化と量産体制の確立
- ・八戸・いわきへの拠点投資と重機配備による、北関東～東北エリア全体を網羅する広域一括回収ネットワークの構築
- ・M&Aを通じた処理能力拡大とモンゴル等へのリサイクル技術輸出、および年率7%水準の大幅な賃上げによる人的資本投資

実施体制

- 社内体制
 - ・100億円達成に向けたプロジェクトチームを組成。代表取締役を最高責任者、事業統括を推進責任者とし、各部門責任者へ実務権限を大幅に委譲。拠点長クラスの現場の第一線で活躍する彼らに経営視点を持たせ、次世代の経営幹部を計画的に育成する
- 社外体制
 - ・太陽光パネルリサイクルの技術・研究顧問としてモンゴル国立大学教授の知見等を活かし、成分分析や海外展開を推進
 - ・分離機メーカーとの連携による品質安定化や、採用エージェントを活用した採用強化を図り、確実な事業推進を実現する